



市議会ホームページ
QRコード

平成28年度決算全会計を認定

平成29年第3回定例会は、9月1日から9月29日までの29日間の会期で開催し、市長提出議案27件を議決しました。なお、陳情5件はすべて継続審査となりました。(結果は8頁に掲載)

一般質問では、23名の議員が5日間にわたり、市長等と議論を交わしました。(2～6頁に掲載)

最終日29日の本会議では、各会派から一般会計歳入歳出決算議案に対する賛成・反対の討論が行われました。(7～8頁に掲載)



平成28年市農業祭「棒打ち」の様子 都立武蔵国分寺公園(泉町2-1)

平成28年度一般会計決算 及び全特別会計決算を認定

市議会は、決算議案審査で前年度の予算執行状況やその効果の評価を行い、翌年度以降の健全な行財政運営に資する審査を行っています。

平成28年度の一般会計及び7特別会計の決算議案の審査は、決算特別委員会(皆川りうこ委員長、丸山哲平副委員長、議長と議員選出監査委員を除く22名で構成)を設置し、9月22日と25日、26日の3日間審査を行いました。

平成28年度決算は、一般会計では実質収支額8億5,749万円の黒字で、前年度実質収支額を差引いた単年度収支額は9億1,615万1千円の赤字。7特別会計を合わせた全会計総計の実質収支額は12億3,073万4千円の黒字、単年度収支は3億5,812万円の赤字となりました。

委員会では、最初に一般会計の『決算の概要』『歳入』『人件費』『歳出』の質疑を行い、その後各特別会計の質疑を行いました。

●『決算の概要』の主な質疑は「市は収支均衡型予算を目指してきたが、一般会計の単年度収支が昨年の黒字から赤字に転じている。また財政の弾力性を示す経常収支比率は昨年度より2ポイント悪化しているが、この状況をどう受け止めているか」との質疑があり、「単年度収支は前年の平成27年度では歳入が大きかったのに対し、平成28年度では税連動交付金等歳入が減ってしまったことが主要因である。経常収支比率は都内各自治体が一律で悪化している状況にあるので、今後社会情勢を含め注視しつつ、対応していきたい」との答弁がありました。さらに「実質収支比率が3.6%となり、適正とされる数値に入ったことは、収支均衡予算を目指してきた証左であると評価する」「市の財政状況

公表に当たってはよりわかりやすいものとなるよう工夫すべき」等の質疑がありました。

●『歳入』の主な質疑は「市税の収入未済額が前年度と比較して減少している。現年度分の未済を増やさない早期対応によるものと評価する」「たばこ税の見積りに当たっては、今後の喫煙に関する厳しい規制等を踏まえた対応を行うべき」等の質疑がありました。

●『人件費』の主な質疑は「人件費の総額が前年度よりも下がっており、市の努力と評価する。今後も給与全体は高い水準にあることを認識し慎重に対応せよ」「専門職の嘱託職員欠員状態解消に向けた対策を」等の質疑がありました。

●『歳出』の主な質疑は「声の広報利用者拡大に関し努力された取り組みを評価する」「まちの魅力発信事業は国の交付金が削減されても継続して実施を」「まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況を把握し、子育て世代の包括支援センター整備に向けた検討を促進せよ」「平和祈念事業におけるピースメッセージがさらに活躍できる場と報告書の活用を拡充すべき」「老朽化した自治会・町内会の掲示板の維持・修繕を」「防犯に対する意識啓発の実施は自治会・町内会の協力を得て」「こどもの発達センターつくしんぼは狭隘により待機状況にある。民間誘致等対応を促進すべき」「国保特別会計の赤字解消を踏まえ国保税改定の検討を」「子ども家庭支援ショートステイ事業のPRと手続き簡略化を」「国分寺駅北口再開発ビルオープンに向けて商業振興の強化と装飾街路灯のLED化への誘導支援を」「交通安全推進に関わる立て看板設置においては交通事故抑制に有効な取り組みを」「国分寺駅周辺の臨時駐輪場は廃止ありきではなく、ニーズを把握したうえで対応すべき」「修学旅行等の業者選定に一般

競争入札導入の検討を」「小・中学校の学校事務共同実施による共同事務室設置にあたっては、今後の教室の余裕状況を勘案して検討を慎重に」「学校の教室、廊下等にLEDの積極的導入を」「今般の中学校給食を取り巻く報道があるが、本市としてはしっかり業者のチェック等を願う」「今後公民館は市長部局と役割を確認し、社会教育に特化した展開を検討しては」「子どもの読書活動に資するよう図書館と学校で連携・協力を」等の質疑がありました。

また「都立武蔵国分寺公園隣接の市立保育園ポッポのもり跡地をプレイステーションとして活用できないか」問われ、「当該地活用は東京都との調整やインフラ再整備などが必要となる提案のため、今後多角的視点から検討が必要となる」との答弁があり、「一定研究し、議会への報告を望む」との質疑がありました。

●委員会では、以上の質疑の後に採決を行った結果、一般会計決算は賛成多数で「認定」と決しました。特別会計決算は国分寺都市計画事業国分寺駅北口地区第一種市街地再開発事業特別会計、介護保険特別会計の2特別会計決算は賛成多数で、その他5特別会計決算は全員賛成ですべて「認定」と決しました。

●本会議では、一般会計決算に対して反対・賛成の討論が行われ、一般会計及び特別会計とも委員会と同様の結果となりました。

平成29年度一般会計補正予算(第2号) を賛成多数で可決

本補正予算の内容は、歳入歳出予算の総額498億3,293万5千円に歳入歳出それぞれ5億2,841万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を503億6,135万1千円とするとともに、債務負次ページに続く▶

上級救命講習を受講しました



(受講する議員の様子 8月7日ほか)

シリーズ 国分市議会④

決算特別委員会は

市の収入、支出の結果である決算議案について、毎年9月に行われる第3回定例会において、前年度分の決算が適法かつ正当であったのかを確認し、その適正性の認定を行うために市議会に設置される委員会です。

この委員会は、全議員(議長、議員選

出の監査委員を除く22名)で構成しており、市から説明を受け、決算書を1頁ずつ確認し、その適正性の審査を行います。

また、国分市議会としての最終意思決定を行う本会議では決算議案の表決にあたり、討論(反対・賛成に関する意見表明を行うこと)を行っています。

決算議案に対する討論は、会派(議会内に結成された議員の同志的集合体)ごとに決算特別委員会で確認した内容の評価を表しつつ、賛否の判断に至る考えを表明しています。